

任 着 補 将 陸 口 関



発行所
明野駐屯地
広報班



着任の辞を述べる関口学校長

令和2年3月18付で関口陸将補が、第3師団副師団長から第38代航空学校長兼明野駐屯地司令に着任した。また、同年3月16日付で笠松1等陸佐が、第5旅団副旅団長から第38代航空学校副校長に着任した。

着任式で関口学校長は航空学校職員に対し、

「少しだけ上を目指せ」

「二丸となれ」

の2点を要望した。

4月に入ると学校長は、各分校を視察し、教育訓練や職員・学生の状況を把握するとともに、要望事項等を徹底し、令和2年度の校務運営を力強くスタートさせた。

略歴

平成1年3月 北部方面ヘリコプター隊 指揮幕僚課程

9年8月 第10師団司令部

11年8月 外務省中東アフリカ局中東第1課

13年8月 第1次イラク復興業務支援隊

16年1月 防衛駐在官(ハキスタン)

17年6月 中央情報隊 情報処理隊長

20年12月 幹部学校 戦略教官

22年8月 陸幕防衛部 国際防衛協力室長

23年4月 西部方面総監部 情報部長

26年3月 情報本部 電波副部長

28年3月 第5旅団副旅団長

30年3月



第38代航空学校副校長

かさまつ まこと
笠松 誠

略歴

昭和62年10月 第10飛行隊 指揮幕僚課程

平成6年8月 幹部候補生学校 陸幕人事部

8年8月 第5飛行隊長

11年3月 陸幕教育訓練部

15年3月 陸幕航空機課 総括班長

16年8月 研究本部研究員

19年7月 中部方面航空隊長

21年12月 陸幕航空機課長

23年8月 北部方面航空隊長

25年8月 東北方面総監部 人事部長

27年8月 統合幕僚学校 副校長

29年12月 第3師団副師団長

30年12月



第38代航空学校長兼明野駐屯地司令

せきぐち かつのり
関口 勝則

佐野1佐は令和2年3月16日付で、陸将補に特別昇任され、同日付でご勇退されました。

駐屯地隊員に見送られる佐野将補

3月18日付でご勇退されました。

ご勇退

駐屯地隊員に見送られる服部将補

新型コロナウイルス感染防止

駐屯地の取り組み

現在、明野駐屯地では新型コロナウイルスの感染防止対策として、3密を避ける様々な取り組みを行っています。

警衛所の受付では、来駐者の検温を実施しています。隊員食堂では、普段12時〜13時の間は誰でも喫食することが可能ですが、現在は喫食する各隊員に整理券が配られ、決められた時間内に喫食するように統制をしています。また、前後左右の距離と間隔を2m以上空ける配置とし、私語を禁止するなど、感染の防止に努めています。

事務所においては、室内の換気の他に、デスクの配置を壁付けに配置して向かい合わないようしたり、やむを得ず向き合う場合は、衝立や透明なシートで仕切るなどし、接触を極限に抑えるようにしています。また、ドアノブやパソコン・電話機器など人が多く触れる物や場所は毎日1回以上、消毒を行っています。

入校式では、来賓や家族を不参加とし、距離と間隔を空けて整列し、例年とは大きく雰囲気の違いで、式を執り行いました。明野駐屯地は引き続き、新型コロナウイルスの感染防止に最大限努め、即応態勢を維持してまいります。

事務所の感染防止策の実施状況



隊員食堂の感染防止策の実施状況

異機種航空機記念撮影



英虞湾上空

2月13日に明野駐屯地に所在する全機種による異機種編隊飛行を実施しました。令和2年3月で退役を迎えたOH-6Dを含む最後の編隊飛行となり、地上撮影では現在実用試験が進められているXUH-2も参加し、航空科職種のメッカたる明野駐屯地の歴史に残る記念の写真となりました。



明野駐屯地

OH-6D見送りの様子



さらば!

OH-6D

令和2年3月17日、観測ヘリコプターOH-6Dが、退役のため明野駐屯地を飛び立ちました。

OH-6Dは、1979年に明野駐屯地に配備され、軽快な機動性と使い勝手の良さで各部隊で活躍した、名機といえる存在でした。また多くの操縦士にとっては、操縦を学んだ青春の象徴でもあり、その引退を惜しむ声が多く聞かれましたが、令和2年3月末をもって陸自の全機が用途廃止となり退役します。OH-6Dが明野駐屯地を飛び立つ際には、第10飛行隊の隊員だけでなく、駐屯地に所属する多くの隊員が見送りに駆け付けました。飛び立った機体は霞ヶ浦駐屯地まで飛行し、関東補給処に機体を引き渡してOH-6Dの運用を終了しました。こうして、陸上航空の大きな歴史の一つが幕を閉じました。



離陸直前の様子

私の家族

「新型コロナウイルスに対して出来る事」

第5対戦車ヘリコプター隊
1等陸尉 杉田 和広

政府は令和2年4月16日、新型コロナウイルス感染拡大に伴い緊急事態宣言を全国に拡大しました。ニュースでは連日、新型コロナウイルスの感染状況、医療崩壊の危険性等を報じており、事態は深刻であることが伺えます。

このような中、私の妻は、三重県伊勢市の子育て支援センター「きらら館」に勤務し、乳幼児をお持ちのご家庭のお母さん達に対して乳幼児の保育に関する支援をしております。

しかしながら、先日の緊急事態宣言を受け、子育て支援センターも新型コロナウイルス感染拡大防止のため当分の間休園となりました。乳幼児をお持ちのお母さん達の負担が増す事を心配していた矢先、伊勢市から妻に「家庭で過ごす機会の増えた親子が楽しい時間を過ごすことを目的とした動画投稿に協力してほしい。」という依頼があり、私もこの依頼に賛同し、妻に是非協力するよう勧めました。妻は当初は迷っていましたが、地域のためになるのであればと引き受けることにしました。

妻のこの動画は現在「伊勢市きらら館動画」で検索すれば視聴して頂くことができます。



杉田1尉の奥様が投稿している動画



杉田家ワンチーム

これを読まれている方で、ご家庭に乳幼児がいらっしゃる方には是非ご視聴して頂ければ幸いです。
新型コロナウイルス感染拡大によって日々不安が増すなかで、杉田家はワンチームとして行動することとし、息子・娘は家で待機を、妻はこの動画を作成・配信することで、そして私からは隊務に精励する事で国民の皆様へ安心を届けたいと思っております。

伊勢の知識

このコーナーでは知っているようであまり知らない伊勢の人・物・事・場所、そして自然を紹介いたします。

伊勢のチンチン電車

かつて伊勢市内を走っていた神都線の電車が、昭和36（1961）年廃線になって五十数年、あのレトロ調のチンチン電車の姿を懐かしむ人々も減ってきているに違いない。

その始まりは、明治29（1896）年、宮川電気が経営母体となり、明治37（1904）年、伊勢電気鉄道に引き継がれている。本格的な敷設は、その前年に行われ、区間は本町（外宮前）↓古市口↓二軒茶屋↓二見であった。その後、大正3（1914）年、猿田彦神社前↓内宮前を開通させて全線が完成したことになる。経営母体は、昭和14（1939）年からは神都交通であったが、当時の鉄軌道五社と自動車会社二社とが合併し、昭和19（1944）年、三重交通が誕生している。

真珠抄

「努力制自然」

戦時中、東條英機首相兼陸軍大臣（当時）が、明野に来訪された際に残した書が広報資料館に展示してある。

「努力は自然をも制する」とでも読むのであろうか。明野陸軍飛行学校で学ぶパイロットの卵への「努力を重ね、気象・地象を克服して、任務を完遂せよ」とのメッセージと読み取れる。

過去、多くの偉人やアスリートが「努力」について格言を残している。

「努力は必ず報われる」が一般的だが、「報われない努力は、まだ努力とは言えない」（王貞治）と自身に厳しい格言や、「努力した者が皆成功するとは限らないが、成功する者は皆努力している」（ベートーベン）という運命の要素も含めた格言もある。



新型コロナウイルスと世界が戦っている昨今、在宅勤務や外出自粛の休日などを過ごすかで随分差が出ると思う。達成可能な目標を定めて“努力”を重ね、成長する期間にしてみてもいいかがだろうか。

（総務部長 岡1佐）

部隊紹介

航空学校 企画室

航空学校企画室は、学校の校務運営の方針たる「強靱な陸上航空を創造するための牽引力として、その進むべき方向を示し、いかなる変化にも対応できる人材育成」を具現化するため、教育・訓練・研究のスパイラルを促進させるエンジンのように各種業務を実施しています。

また、UH2PJ、空輸部隊戦力化フォローアップの主催、人材管理PJへの参加等、広範多岐にわたる業務を実施し、航空科職種の精強化に貢献しています。

更に昨年度末には、航空科職種の各種統制の発出や航空学校教官章を作成し、陸上自衛隊の一体的運用時における航空科職種の円滑な運用に寄与してきました。

そして、学校長の交代に際しては、両分校の初年度視察を速やかに企画し、学校長の統率の補佐に万全を尽くしました。

企画室から航空学校教官章の紹介



航空学校教官章

教官章は、航空学校所属の教官・助教が装着することで、自己の職責を自覚させるとともに教育者としての心構えを堅持させ、学生から信頼される教官・助教となる一助とすることを目的としています。そのデザインコンセプトは、航空科職種の象徴である航空科徽章を中心にし、将来を担う学生を支える意味を込めて航空科徽章の下部に教官（助教）の文字を配置、基本教育に重要な事項を自覚させる意味を込めて幹部・陸曹の育成上の重要事項である文字（幹部は統率者と教育者の育成、陸曹は伝統の継承）を英語で配置、最下部に教官・助教としての矜持を持たせる意味を込めて航空学校の校風である「先駆けと礎石」を英語で配置しています。

本肩章は、航学企第五十号により、両分校・教育部等が令和2年4月1日から装着しています。

航空学校 総務部

航空学校総務部は、総務課・管理課・航空管理課会計課・衛生課からなり、航空学校の教育・研究基盤等の充実に資するため、航空学校の各種事態へ即応する駐屯地司令業務及び部隊・隊員ニーズに機敏に対応する駐屯地業務を効率的かつ的確に実施しています。

また、共通職ということもあり、多くの航空科職種以外の自衛官、事務官及び技官が所属しています。年齢層も幅広く職務以外にも多くのことを学べる部という特色もあります。

今後も航空学校、明野駐屯地を支えるべく、職員一同、日々努力していきます。



駐屯地医務室で勤務する隊員（衛生課）



隊員食堂で勤務する隊員（給食班）



駐屯地消防訓練の様子（航空管理課）



各種行事等で受付業務をする隊員（会計課）



ボイラー室で勤務する隊員（管理課）



広報展示室の様子



駐屯地スポーツ大会（大縄跳び）の様子（総務部の隊員）



転入者教育の様子（総務課が担当）

栄光の紹介

航空無事故飛行5000時間
第2教育部 平林3佐



「なお一層、高い安全意識を維持しつつ、任務に邁進いたします。」

車両無事故走行2万キロ
第5対戦車ヘリコプター隊 石田3曹



「引き続き、5万キロを目指します。」

通信学校基礎電子課程成績優秀
第10飛行隊 石川3曹



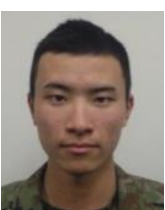
「皆様のご指導とご支援に感謝しつつ、引き続き安全に任務を実施していきます。」

上級航空管制員課程 第2教育部長賞
中部方面管制気象隊第1派遣隊 平塚2曹



「この賞に負けないよう日々努力し、励みたいと思います。」

陸曹候補生課程共通教育中隊「努力賞」
飛行教導隊 庄原士長



「引き続き初級陸曹に必要な識能と資質の修得に努めます。」

第4陸曹教育隊長褒賞（初級陸曹の育成）
中部方面管制気象隊第1派遣隊 了戒2曹



「この経験を活かして、今後の後輩育成に励みます。」

定年退官



2月7日
2教部
2等陸佐
加藤 忠



3月31日
整備部
防衛技官
村林 保



3月31日
整備部
防衛技官
道員 陸男

永年の自衛隊勤務、大変お疲れ様でした。

皆様のご健勝とご多幸を祈念しております。